

学校運営協議会の現状と課題

羽島市教育委員会事務局 学校教育課

1 活動状況

(1) 協議会委員人数

学校名	地域	学校	合計	学校名	地域	学校	合計
足近小	11	2	13	羽島中	22	2	24
小熊小	15	2	17	竹鼻中	17	3	20
正木小	17	2	19	中央小・中	23	4	27
竹鼻小	12	5	17	中島中	15	5	19
福寿小	11	5	16	桑原学園	8	3	11
堀津小	11	4	15	西部幼	8	3	11
中島小	17	3	20	合計	187	42	229

1 協議会平均人数：17.6 人

(2) 協議会開催回数

学校名	実施月	合計	学校名	実施月	合計
足近小	5・9・2	3	羽島中	4・10・11・2	4
小熊小	4・9・1	3	竹鼻中	5・9・2	3
正木小	4・10・2	3	中央小・中	4・6・11・2	4
竹鼻小	5・2	2	中島中	5・6・9・2	4
福寿小	5・10・2	3	桑原学園	4・6・7・9・11 12(2回)・2	8
堀津小	5・9・11・2・3	5	西部幼	4・10・2	3
中島小	5・9・11・2	4	合計		49

1 協議会平均開催回数：3.7 回

(3) 児童生徒が協議会委員と熟議する会議

学校区	会議名	年間実施回数	方法	備考
羽島中校区	絆会議	4 回	参集	
竹鼻中校区	ひだまり ミーティング	3 回	オンライン	第 2 回のみ 委員参加
中央中校区	絆会議	1 回	参集	R6 は年間 2 回
中島中校区	絆会議	2 回	参集	
桑原学園校区	検討中	5 回	参集	生徒のみ参加

(4) コミュニティ・スクールが実施している事業

- ・各コミュニティ・スクールの部会例
 - 「確かな学力部会」「豊かな心部会」「安心安全部会」
- ・令和 7 年度の事業
 - 116 事業、約 7,000 人の地域の方（団体）の参加
- ・羽島市補助金（コミュニティ・スクール推進事業）
 - 各学校運営協議会に年間 10 万円（中央小・中は年間 20 万円）

2 コミュニティ・スクールの理解度（保護者アンケートの回答）

- ・年度末に各学校で実施する学校評価で、保護者のコミュニティ・スクールへの理解度について調査し、次年度に向けて改善を図っている。

【コミュニティ・スクールの理解度の推移】

保護者は、学校がコミュニティ・スクールを活用し、地域と協働して教育活動を行っていることを理解している	年度	R4	R5	R6
	割合 (%)	58.58	70.60	71.20

3 改善の方向

(1) 新しい時代に向けた羽島市の学校構想について（答申） R6.11.1

【付帯事項】（一部抜粋）

コミュニティ・スクールの取り組みの充実に努め、学校運営協議会が学校運営により積極的に参画できるようにすること。

(2) 令和6年12月定例会 教育長答弁より（一部抜粋）

今後、学校運営協議会が、一層積極的に学校経営に参画することが求められ、より学校との意思疎通が定期的かつ円滑に行われるように、また、日常の教育活動や学校運営に並走するような機能的な学校運営協議会にするためにも、**開催時期や回数及び委員の人数も含めた構成について検討**していきたいと考えております。

また、議員ご指摘のとおり、地域学校協働本部と学校運営協議会との関わりについては、**より連携が図られ、熟議や活動が機能的になるようにしていく**ことが大切であり、現行のボランティア活動部や学校支援部などの**部会組織体制の整備や機能の強化及び地域学校協働活動推進員の役割の明確化**などを図っていくことが大切であると考えております。

(3) 各組織等の役割 ～「これからの学校と地域」（文部科学省）より引用～

①学校運営協議会

- ・関係者による、学校運営・その運営に必要な支援に関する協議や熟議等を行い、**地域の目標やビジョンを共有**する。

②地域学校協働本部

- ・学校運営協議会での結果を踏まえ、幅広い地域住民等が参画することによって、**教育活動や地域学校協働活動の充実や活性化**につなげる。

③地域学校協働活動推進員

- ・**地域と学校の連携・協働活動の企画・調整・運営**を担う。

(4) よりよい学校運営協議会に向けての検討事項

- ・学校運営協議会委員の学校運営へのより積極的な参画
- ・学校運営協議会の開催時期、回数、委員の人数の検討
- ・学校運営協議会と地域学校協働本部の役割の明確化
- ・学校運営協議会への児童生徒の参加

【参考】R7.10.22 第2回正木小学校運営協議会での委員の意見

学校運営協議会がいろいろな活動ができるように、組織をうまく再編できるといい。意思決定は、会長や校長、副会長など少人数で行い、3つの下部組織を作り実際に活動ができるように検討するなど。

学校運営協議会の現状と課題

羽島市教育委員会 学校教育課

1

内容

- 1 活動状況（委員人数・開催回数等）**
- 2 コミュニティ・スクールの理解度
（保護者アンケート）**
- 3 改善の方向**

2

はじめに

「学校運営協議会」とは
→学校運営や学校運営に必要な
支援に関する協議を行う

- (1) 教育目標及び経営方針に関すること
- (2) 教育課程の編成に関すること
- (3) 行事の計画に関すること
- (4) 園長及び校長が必要と認める事項

羽島市
CS 9 年目

「コミュニティ・スクール」とは
→学校運営協議会を設置した学校

3

1 活動状況 (R7協議会委員人数) 1 協議会平均人数: 17.6人

学校名	地域	学校	合計	学校名	地域	学校	合計
足近小	1 1	2	1 3	羽島中	2 2	2	2 4
小熊小	1 5	2	1 7	竹鼻中	1 7	3	2 0
正木小	1 7	2	1 9	中央小 中央中	2 3	4	2 7
竹鼻小	1 2	5	1 7	中島中	1 5	4	1 9
福寿小	1 1	5	1 6	桑原学園	8	3	1 1
堀津小	1 1	4	1 5	西部幼	8	3	1 1
中島小	1 7	3	2 0	合計	1 8 7	4 2	2 2 9

4

1 活動状況 (R7協議会開催回数) 1 協議会平均開催回数: 3.7回 (学校行事等含む)

学校名	実施月	合計	学校名	実施月	合計
足近小	5・9・2	3	羽島中	4・10・11・2	4
小熊小	4・9・1	3	竹鼻中	5・9・2	3
正木小	4・10・2	3	中央小 中央中	4・6・11・2	4
竹鼻小	5・2	2	中島中	5・6・9・2	4
福寿小	5・10・2	3	桑原学園	4・6・7・9・11 12 (2回)・2	8
堀津小	5・9・11・2・3	5	西部幼	4・10・2	3
中島小	5・9・11・2	4	合計		49

5

1 活動状況 (R7協議会において児童生徒が参加する会議)

学校区	会議名	年間実施回数	方法	備考
羽島中学校区	絆会議	4回	参集	
竹鼻中学校区	ひだまり ミーティング	3回	オンライン	第2回のみ 委員参加
中央中学校区	絆会議	1回	参集	R6は 年間2回実施
中島中学校区	絆会議	2回	参集	
桑原学園区	検討中	5回	参集	生徒会のみ参加 児童参加なし

6

1 活動状況（コミュニティ・スクールが実施している事業）

【各コミュニティ・スクールの部会例】

- ・ 確かな学力部会
- ・ 豊かな心部会
- ・ 安心安全部会

【令和7年度の事業】

- ・ 116事業
- ・ 約7,000人の地域の方（団体）が参加

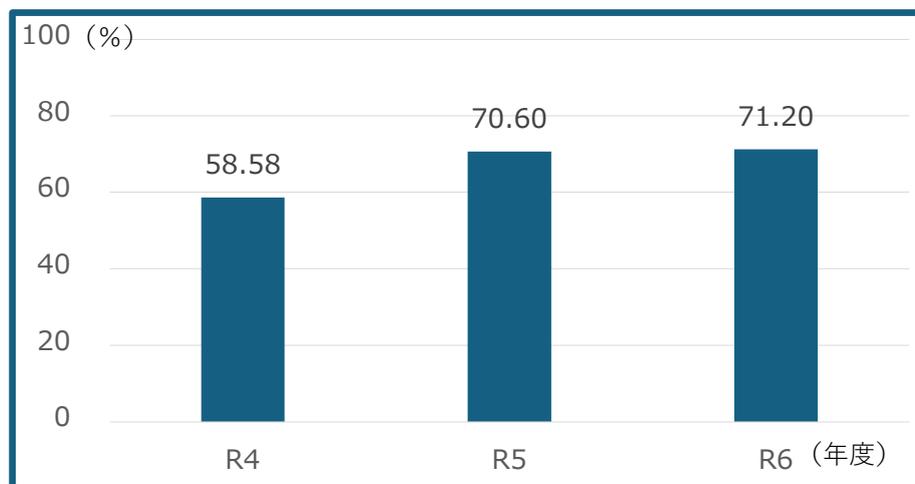
【羽島市補助金：CS推進事業】

- ・ 各学校運営協議会に、年間10万円
（中央小中学校は、年間20万円）

7

2 コミュニティ・スクールの理解度（保護者アンケートの回答）

**保護者は、学校がコミュニティ・スクールを活用し、
地域と協働して教育活動を行っていることを理解している**



8

3 改善の方向（学校構想答申・教育長答弁）

R6.11 新しい時代に向けた羽島市の学校構想（答申）

コミュニティ・スクールの取り組みの充実に努め、学校運営協議会が学校運営により積極的に参画できるようにすること

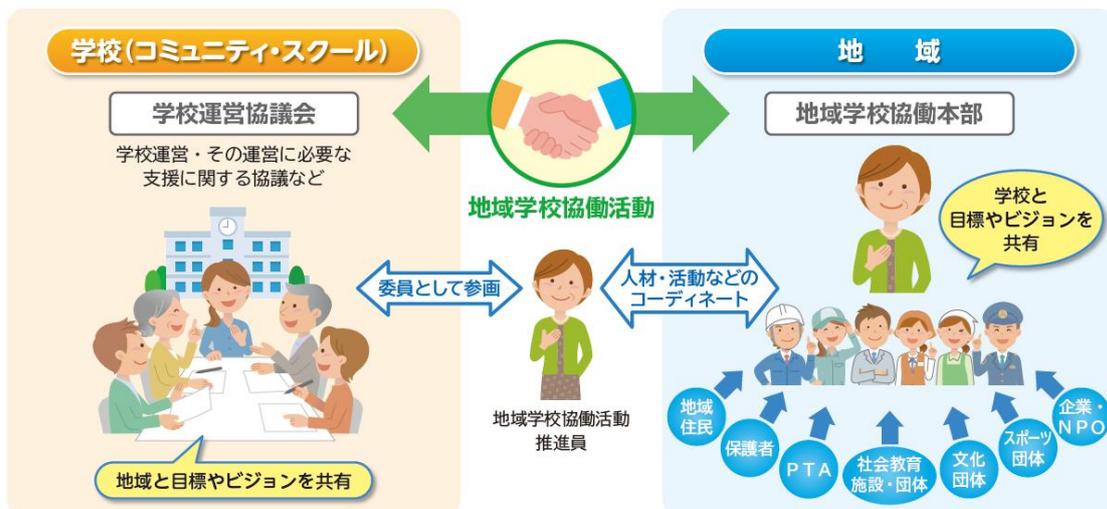
R6.12 定例会教育長答弁

- ・ 機能的な学校運営協議会
- ・ 地域学校協働本部と学校運営協議会の連携
- ・ 部会組織体制の整備や機能の強化
- ・ 地域学校協働活動推進員の役割の明確化

9

3 改善の方向（各組織等の役割）～「これからの学校と地域」（文部科学省）より引用～

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一つの取組として



10

3 改善の方向（よりよい学校運営協議会に向けて）

- ・ **学校運営協議会委員の
学校運営へのより積極的な参画**
- ・ **学校運営協議会の
開催時期、回数、委員の人数の検討**
- ・ **学校運営協議会と地域学校協働本部の
役割の明確化**
- ・ **学校運営協議会への児童生徒の参加**